

# 第1回 各務原市ケアプラン向上研修会 アンケート結果

平成27年5月12日

**参加者** 131名

**アンケート回収** 107名（回答率 81.7%）

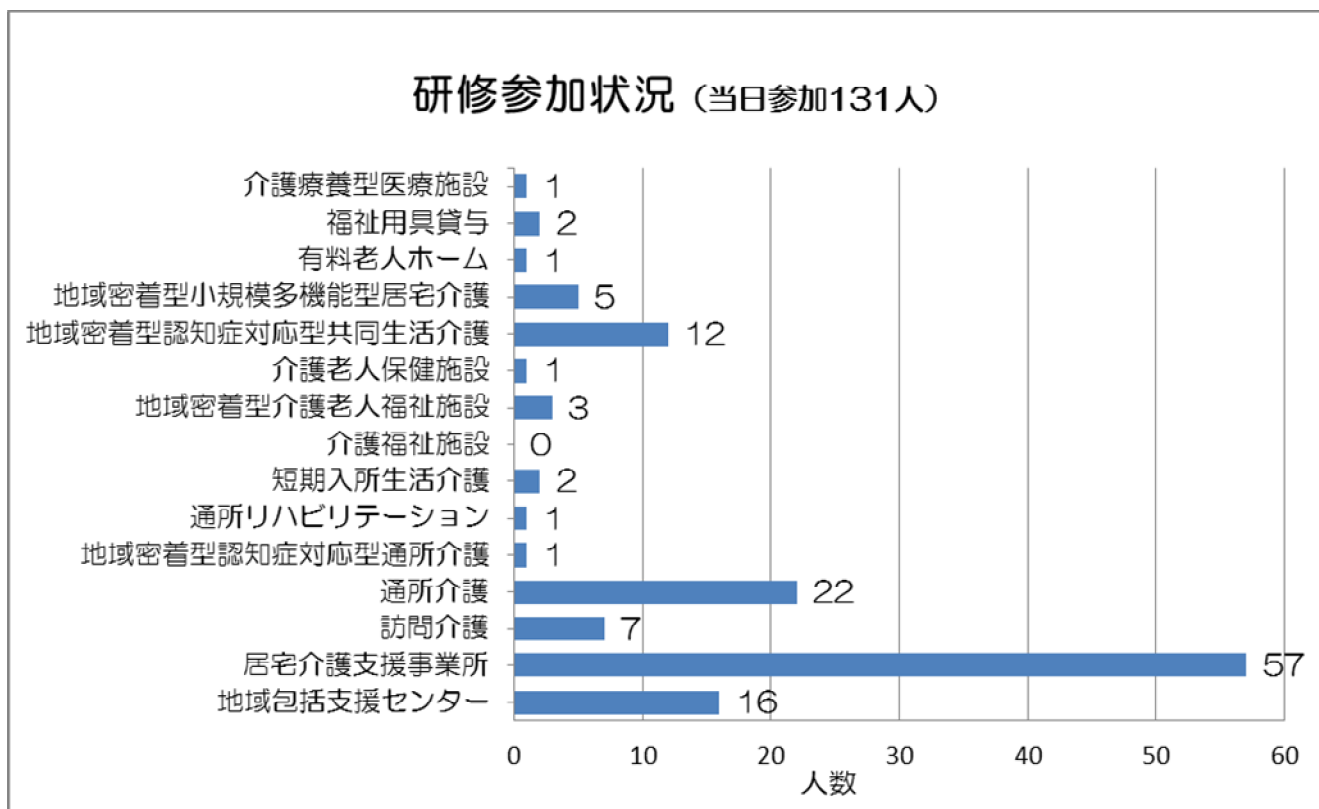
## アンケート調査項目

- ・研修参加者に関するデータ集計
- ・講義において具体的に聞きたかった内容
- ・研修会を通じた学びと気づき、今後取り組みたいこと
- ・今後研修を開催してほしいテーマ

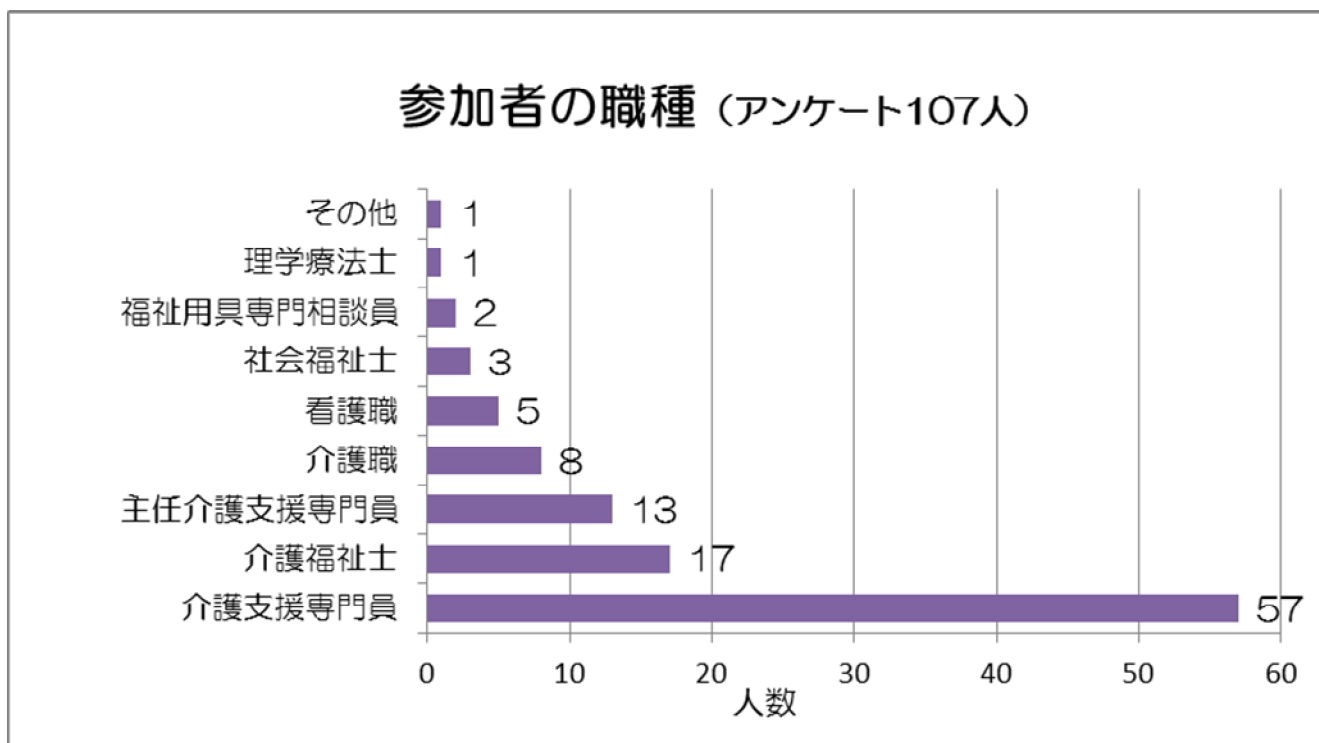
## アンケート結果を受けた総括

地域ケア会議について興味を持ち、理解を深められる機会となったとともに、これまでのケアプランの見直しをするきっかけとなった研修会であったのではないかと。

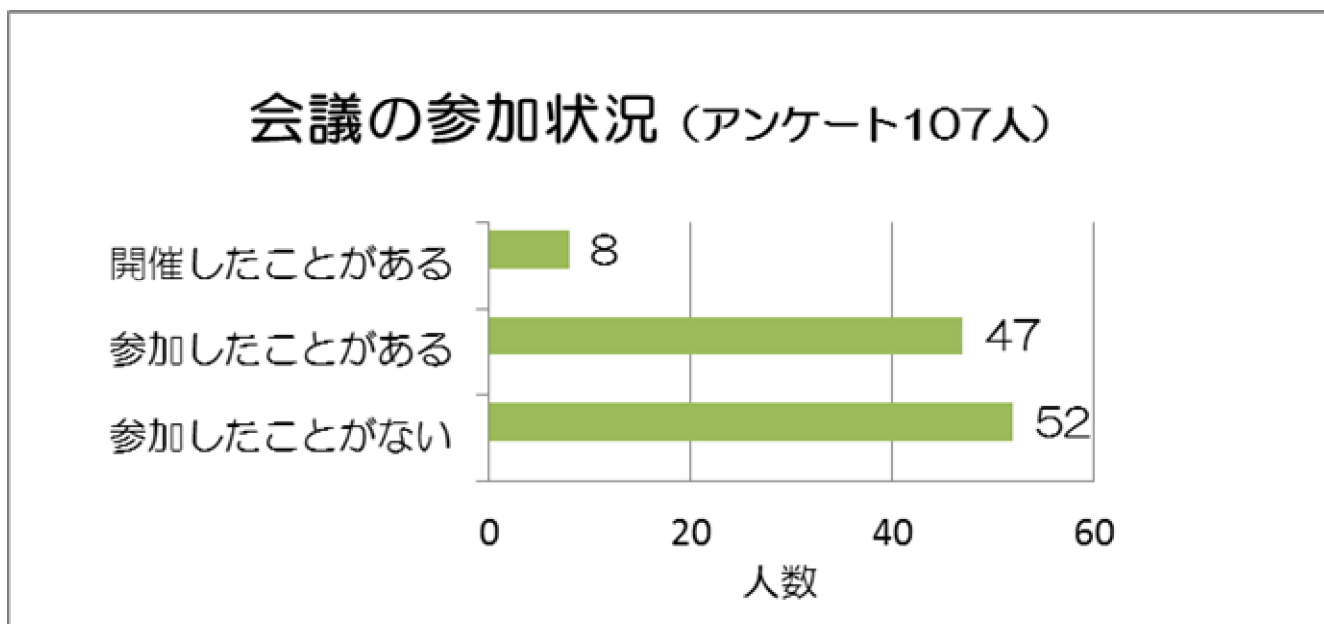
## I 所属事業所について



## II 現在の職種について



### Ⅲ 地域ケア会議について



- ⇒
- ・参加者の職種は介護支援専門員が最も多かった。（全体の52.3%）
  - ・「地域ケア会議への参加経験がない」という人は全体の48.5%であり、各務原市内には地域ケア会議がまだ浸透していないといえる。

#### IV 本日の講義①：制度改正の理解・多職種連携について

「もう少し具体的に聞きたかった内容」があれば記入して下さい。

##### 《通所系》

- ・次回改正でも更なる介護報酬の引き下げの話が厚労省で出ているのか知りたい。
- ・各務原市の地域ケア会議の実施状況を知りたい（2名）
- ・ケアマネ前提での講義だったのでもう少し崩した説明をしてもらった方が良かった。

##### 《包括》

- ・課題総括表の活用方法について
- ・医療と介護の連携の具体的に取り組んでいる経過や方向性。
- ・多職種連携について、事業所側からの話を聞きたかった。
- ・介護保険制度改正の内容（集中減算等）

#### V 本日の講義②：地域ケア会議の目的と機能について

「もう少し具体的に聞きたかった内容」があれば記入して下さい。

##### 《通所系》

- ・地域ケア会議の事例を知りたい（2名）
- ・多職種への参加の呼びかけの方法

##### 《施設系》

- ・事例が聞きたかった（2名）

##### 《ケアマネ》

- ・地域ケア会議の具体例（3名）
- ・各務原市での地域ケア会議の開催頻度。
- ・地域ケア会議が実際に市などの施策に結びついた例を知りたかった。
- ・説明が早かったのでもう少しゆっくり話が聞きたかった。

##### 《包括》

- ・地域ケア会議の個別ケースについてどのような内容のケースが多いのか、具体的にどのような地域課題の把握から、地域づくりや資源開発につながったか聞きたかった等、実際行われた事例の紹介（3名）
- ・ケア会議の区別（グループ型等区別があいまい）
- ・今後具体的な地域ケア会議の内容から地域課題を抽出するには、ファシリテーターの役割も大きいと思われるため、ファシリテーターとしてのスキルの高め方など教えて欲しい。

⇒ 地域ケア会議に対してもっと事例が知りたいという声が多いことから、地域ケア会議を身近なものとしてイメージできている人が少なかったことがうかがえる。さらに、各務原市での実施状況を知りたいという声があった。

VI 本日の研修会に参加して、「学んだこと」や「気づき」を記入して下さい。

《通所系》

- 今後の行政の流れが分かった。 ・これからは地域力も必要になる。
- 地域ケア会議というものをよく知らなかったので勉強になった（4名）
- 他職種との連携の大切さを学んだ。
- 職種や立場により課題や問題点があり苦慮している事が分かった。
- ケアマネと話す事ができ違う視点があると気付いた。
- 会議経験がなく法改正の事も更に理解を深める必要があると感じた（2名）
- 地域ケア会議に参加してみたい。
- 現場の持っている情報が全ての基になると改めて気付いた。
- 身近にいる自分が発信源とならなければと思った。
- みんなが立てたプランから地域課題が見つかる。
- 事業所内だけで考えていくのではなく、いろいろな職種や地域の方の意見を取り入れていく。
- 地域ケア会議は問題解決をのぞみがちだが、会議に参加する事で他の考え方を知る機会になるかもしれないという自分の気持ちの持ち方を変える事が大切だという事を知った（2名）

《施設系》

- 地域ケア会議の目的を忘れ、問題解決に走りそうな気がすることに気づけた。
- 他職種との連携によるケアプランの作成は自らの気づきもあり、とても勉強になると思う。
- ケアマネの質の向上、スキルアップが必要（3名）
- 他施設との相談や情報提供ができるようにしたい。
- きめ細かな情報の共有（計画書の双方向でのやりとり） ・目標設定（2名）
- 出来ないことを補う介護ではないということ。
- 地域ケア会議の重要性を改めて学ぶことができた（2名）
- 地域ケア会議に一度参加したい。
- 地域としてどのようなケアが必要かを考えていく。
- 利用者、家族、ケアマネとの連携を図り様々な視点からプラン作成に取り組む。

《訪問系》

- 生活目標を福祉用具の計画に落とし込むためのアセスメント力が必要だと感じた。
- 他事業所との関わりを強くする。
- 利用者の立場にたった介護をしていく。
- もっと開かれた施設にしていかなければと思った。
- 法律に基づいた地域ケア会議についての重要性を認識し、理解が深められた（3名）

## 《ケアマネ》

- 地域課題を見つけるためにもケアマネの立てるケアプランの重要性を再認識した（3名）
- 多職種連携で情報共有し、皆でケアマネジメントしていく事の重要性（3名）
- 地域ケア会議の機能や意義、重要性（6名）
- 地域の社会資源が大切だと思った。
- モニタリングの重要性。
- 『治す医療から治し支える医療、補う介護から良くし助ける介護』に納得した（2名）
- 環境の限界点を高め自立支援型のケアプランを立てる事で社会資源や環境が変わる（2名）
- 個別ケースを通じて社会資源を把握し、資源開発ができる事が分かった（3名）
- 専門職と連携を図り、利用者を支え、在宅で生活できるよう地域を含め支えていく必要性。
- ケアマネとしてスキルアップが図れるよう、今後も研修等で学びを深めていきたい（2名）
- 本人が諦めてきたことを目標にする等、ケアプランの見直しを一人ずつ行っていきたい。
- 地域ケア会議は困難事例を解決するためだけではなく、他の専門職とその人を支えるために必要な事を全員で意見を出しあっていく必要がある、マネジメント力をあげていかななくてはいけないと感じた。
- 地域づくりにもつながり、社会資源を増やせるかもしれない。
- 利用者本位のケアプラン、個々を皆で支えるケアプラン、予後予測を考えたケアプランにしたい（5名）
- 自分のケアプランについて地域ケア会議等を通じて広く意見を求めていく必要性に気付いた。
- アセスメントの共有の大切さ。
- 短期目標の大切さ。
- 介護サービス導入のエビデンスの大切さ。
- 会議をする事が目的にならないようにする。
- ケアマネの業務はとても重要であるが、重荷を感じる。

## 《包括》

- 地域ケア会議が『在宅生活の限界点を高めるため』に役立つと考えると分かり易かった。
- ケアマネだけでないケアプラン作成は、モニタリングで多職種連携を図ると利用者や地域における課題が見えてくる。
- 地域ケア会議は法制化された。
- 地域課題をエビデンス化していく。
- グループワークで地域性、地域課題はそれぞれである事に気付いた。
- グループワークでメンバーの意見を聞き、多職種連携がとても大事であると感じた。
- 地域ケア会議の意義の理解が深められた。
- 今回の制度改正の変更ポイントがこの先の制度改正でどのような意味があるのか理解できた。
- 大切なのは『地域ケア会議の開催』ではなく、『どのような課題やニーズがあるのか、どうすれば解決につながりそうか』を把握、見つけ出すことが目的であることを意識する事が重要。
- 皆と一緒に考えて支援をしていくこと。
- ネットワーク（住民・事業所）の大切さを感じた。
- 居宅計画書1～3に基づいて行うケア会議を知らなかった。

⇒ 研修会を通しての「学び」「気づき」としては、

- 地域ケア会議への理解・興味が深まった
- 今回の研修会が交流の場となったことで、多職種連携の重要性がわかった
- ケアプランの重要性が再確認できた
- 情報共有をしていきたい

というものがあつた。

Ⅶ 本日の研修会に参加して、今後「取り組んでみたい」と思ったことを記入して下さい。

#### 《通所系》

- ・関係者間で今まで以上に連携を深め、情報の共有化に努めたい（4名）
- ・自宅訪問し在宅アセスメントをとっているが、もっとその人を知り、好きな事探し、あきらめている事探しをし、自立支援のための具体的目標をケアマネに提案し、スタッフが意思統一ケアしたい。
- ・いつまでもこの地域に住み続けていけるようなケアプランを立て支援していく事が必要。
- ・地域の方や専門職の意見を聞いてケアマネジメントをしてきたい。
- ・介護の仕事をする立場から、少しでも協力できる事はしていきたい。

#### 《施設系》

- ・地域とのつながりをもっと作れるよう働きかけ、連携を深めたい（3名）
- ・地域資源を利用し、達成できる短期目標を設定したい。
- ・きめ細かなアセスメント。
- ・あきらめてきたこと、好きなことを目標にして取り組んでいきたい。
- ・アセスメントやケアプランを見直し、本当に適切なプランかをカンファレンスを通じて見直したい。

#### 《訪問系》

- ・地域ケア会議への積極的な参加。
- ・情報の共有。
- ・一緒にプランを作っていく事。
- ・ケアプランの見直し。
- ・近所の認知症の方が、今後も在宅で生活するためにはどんなサービスが必要か考えてみたい。
- ・短期目標の設定や内容についての見直し。

#### 《ケアマネ》

- ・地域ケア会議に参加して、地域の課題を知っていききたい（8名）
- ・短期目標の設定をその方らしい生活が送れるような具体的なものにしていく（7名）
- ・ケアプランの見直し、モニタリングとアセスメント（課題整理表）の見直し（4名）
- ・担当者会議等で関係機関との意見交換を密に行っていきたい。事業所からの言葉をもっと吸い上げて大切にしていきたい。（2名）
- ・在宅の限界点を高めていきたい。
- ・困難事例に出会った時は地域ケア会議を開催してもらえるよう包括に相談していきたい。
- ・ソーシャルワークの視点を持つ。
- ・サービス事業所へ出向き情報収集をする。
- ・共有できる目標、できなくて残念に思う事や捨ててきた事に目を向ける。
- ・サービスを利用する事で『良くなった点』を見ていきたい。
- ・事業所全員がいずれかの研修・会議・包括主催の圏域ケア会議に参加できるように努めたい。
- ・予後予測を考えて、利用者のアセスメントを再度実施したい。

#### 《包括》

- ・地域包括として地域のネットワークの構築や地域課題の抽出ができるよう、ケアマネから相談のあったケースの中から地域ケア会議の実施へとつなげていきたい（2名）
- ・ケアマネに事例提出の声かけをどのようにしていくか検討する。
- ・地域課題に対するエビデンス。
- ・担当者会議は行ってもなかなか地域ケア会議につなげることはまだ経験が少ない事もあり難しい。まずは地域の特徴や主治医や本人を取り巻く周囲の方を知る事を重視していきたい。
- ・個別援助計画を持ち寄って話し合いができればと思う。
- ・アセスメントでもっとしっかり聞き取りをする。

- ⇒ 今後取り組みたいこととしては、地域ケア会議へ積極的に参加していきたいという意見をはじめ、多職種連携、情報共有のほかに、地域で支えることを重要視する、これまでのケアプランやサービス提供の見直し・振り返り、短期目標の設定をその方らしい具体的なものにしたい、との声があった。

Ⅷ 今後気軽に参加できる研修として「是非開催してほしいテーマ」を記入して下さい。

- ケアプランを例に出し、別のケアプランを比較する事で問題点を見つけ出す手法について。
- モニタリングからケアプランへの繋ぎ方。
- 地域ケア会議への積極的な参加。
- 情報の共有。
- 多職種で一緒にプランを作る。
- 短期目標の設定や内容について等、ケアプランの見直し（2名）
- 経済的に困っている人の支援の方法。
- 様式の使い方。
- 地域包括から地域ケア会議の実例の発表（2名）
- 市のサービス。
- 新人ケアマネ対象の地域ケア会議。
- 困難事例（独居の認知症等）
- 地域ケア会議の振り返り等。
- 医療と介護の連携についての展望。
- 総合事業（新地域支援事業）について。→具体的にどのようなビジョンで計画されているか。

自由記入欄

- 大勢の方が研修に参加しておりすごいと思った。
- 現在実際に活動している社会資源について具体的に知る事のできる資料等があると良い。
- とても分かりやすいお話でした。
- 前年度の研修の内容を深めると思っていたので、今年度の地域ケア会議のあり方については難しい事ばかりであり理解できなかった。
- 自分の圏域の会議を開催してもらえる基準を知りたい。
- 住んでいる人みんなが意見を言い合える場を作りたい。
- 各務原市の地域ケア会議の情報が欲しい。
- 参加できて本当に良かった。勉強になった。多職種でのグループワークはとても有意義だった。
- 初めての事業所の方と話をすることができて良かった。
- 予後予測をプランに入れる事に難しさを感じる。
- 改正後、次の3年間の方向性の話が聞けて良かった。
- 近くの在宅で生活している認知症の方について、いつまでも在宅で生活するためにはどんなサービスが必要か考えてみたい。